

フリー
ダム

DIGITAL

CONCEPT

CATALOG

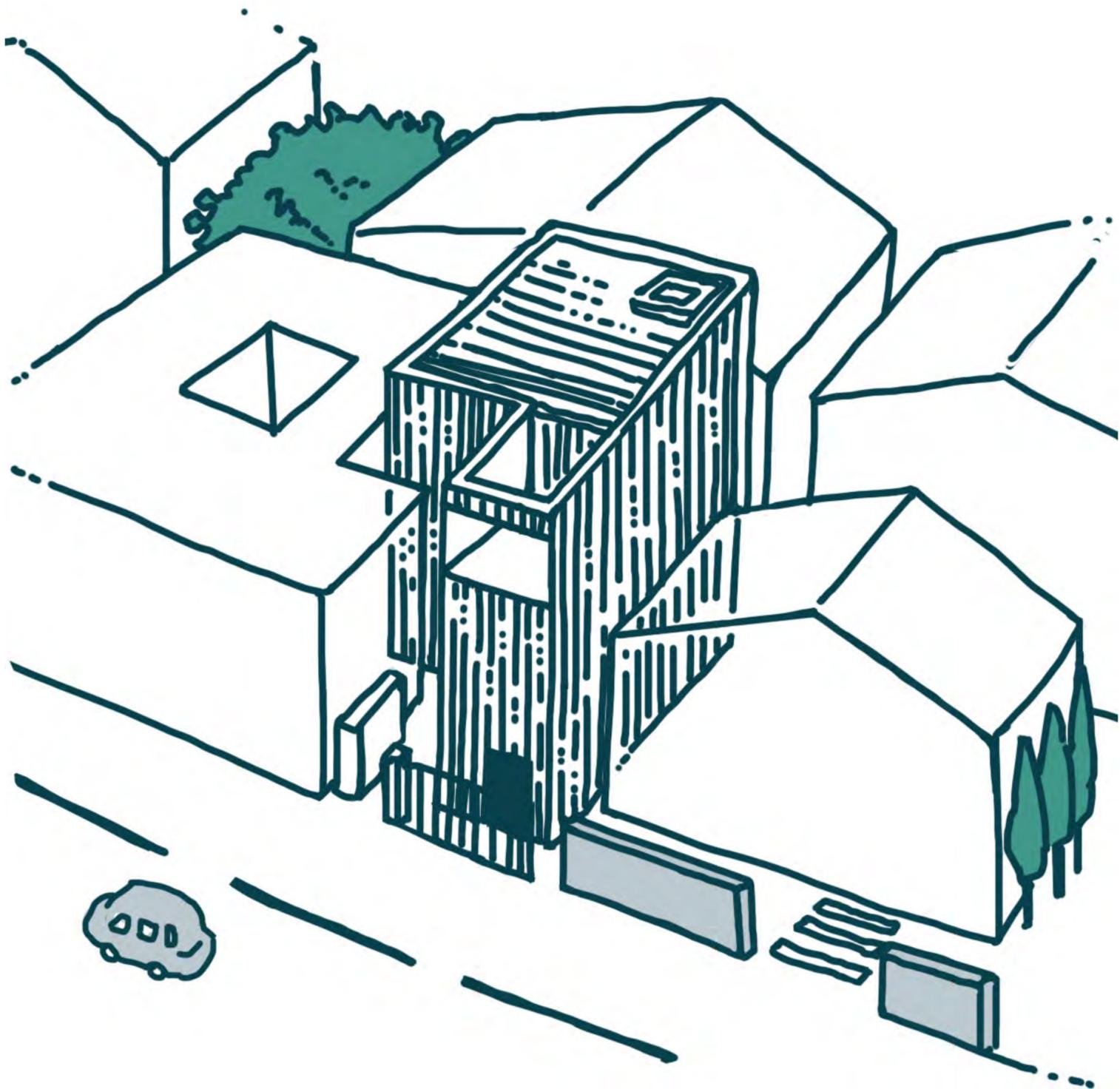
#06 フリーダムの狭小住宅

「狭小住宅」とは、

狭い土地に建築している、

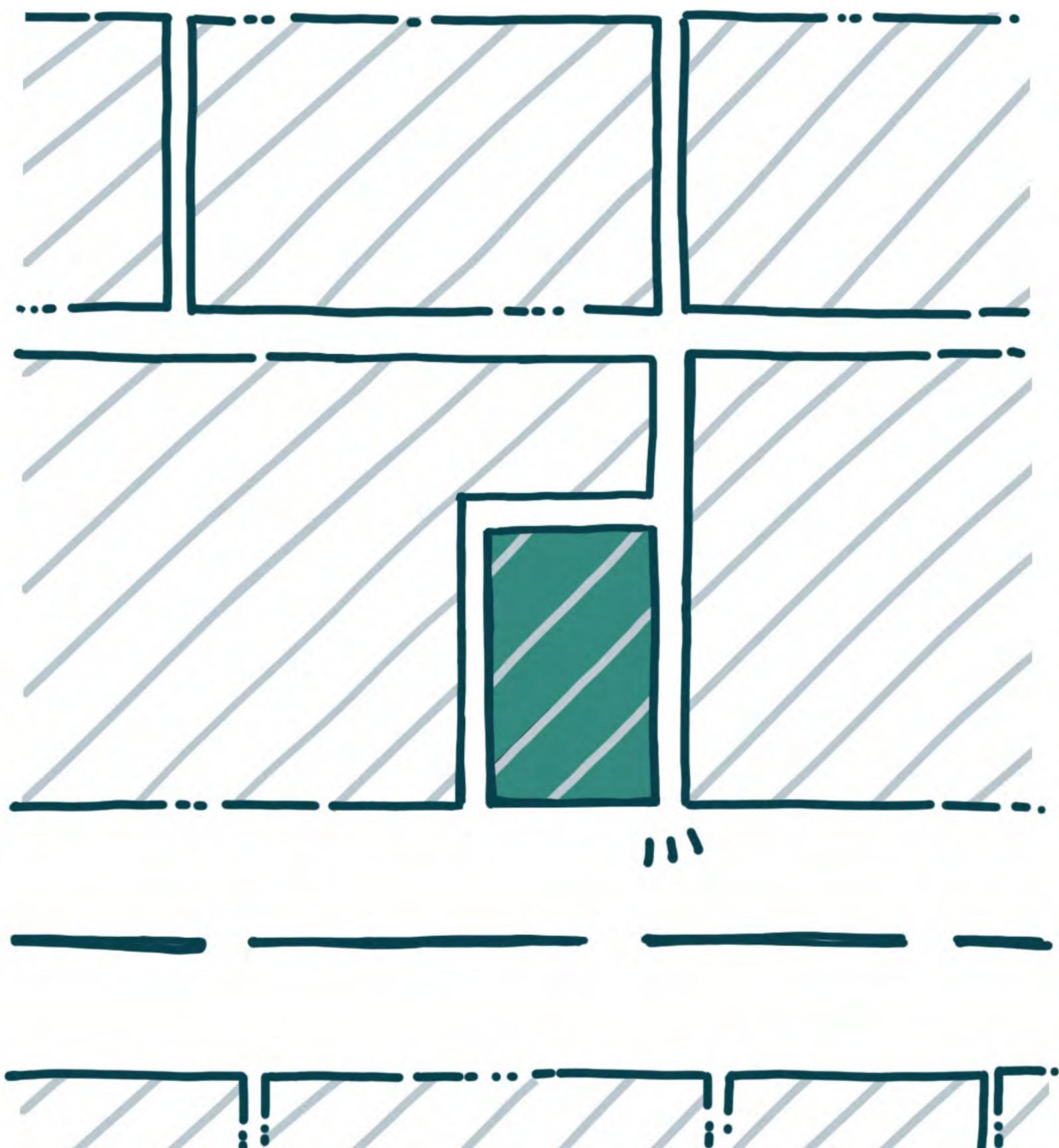
狭くて小さい

住宅のことです。



明確な定義はありませんが、狭小住宅とは15坪（50㎡）以下の土地に建てられた住宅のことで、特に地価が高い都心部で多く見られます。

狭小住宅の
『メリット』を
ご紹介します。



狭小住宅は

都市部に住める利便性

があります。



都市部に家を持てば、通勤通学や買い物なども便利。交通インフラが整った都心部ならば、自動車を持たずに生活することも可能です。

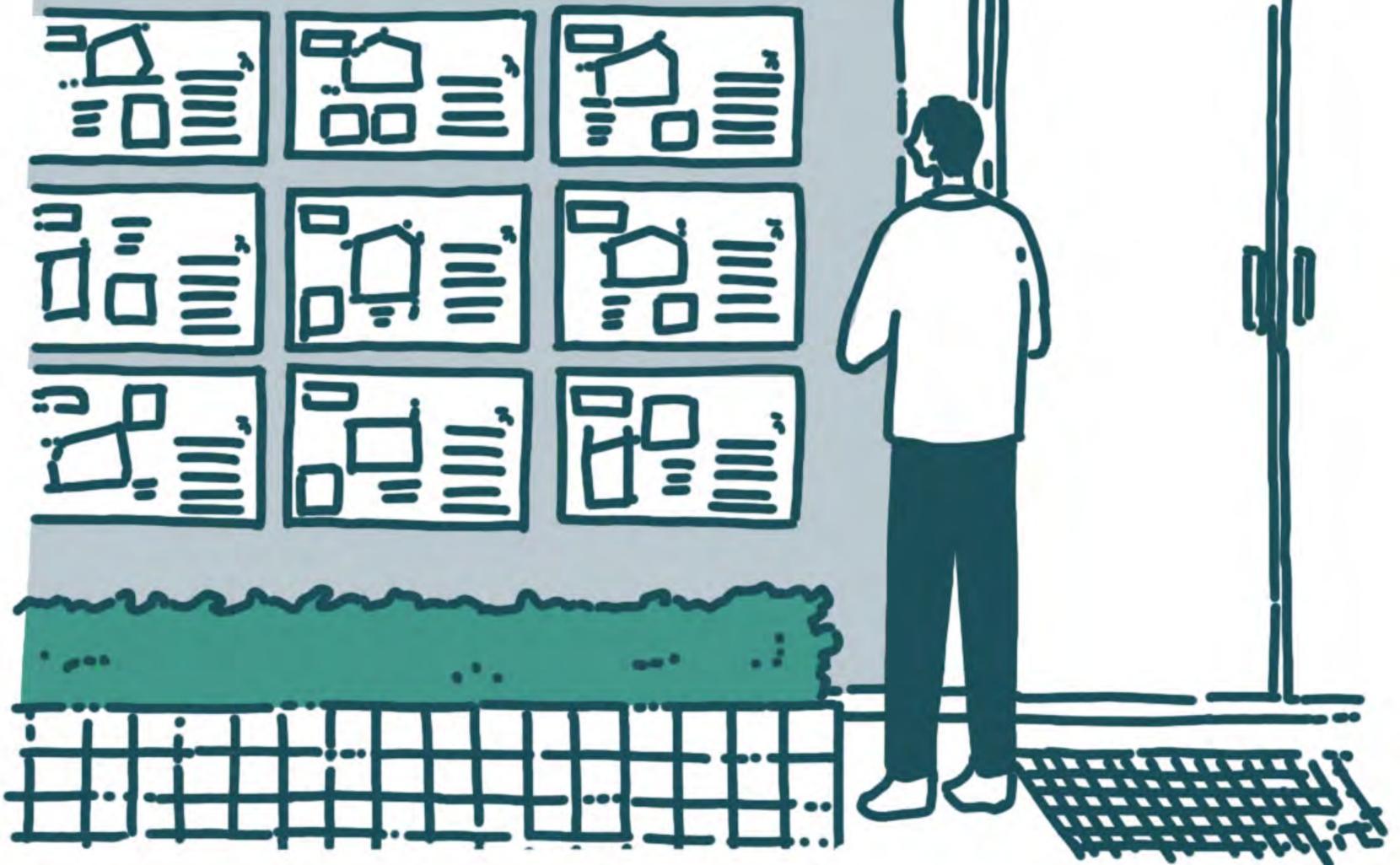
狭小住宅は

土地代を抑える

ことができます。

生活動個

売地情報



小さな土地であれば、都心部でも比較的安価で手にいれることができます。

暮らしに必要な

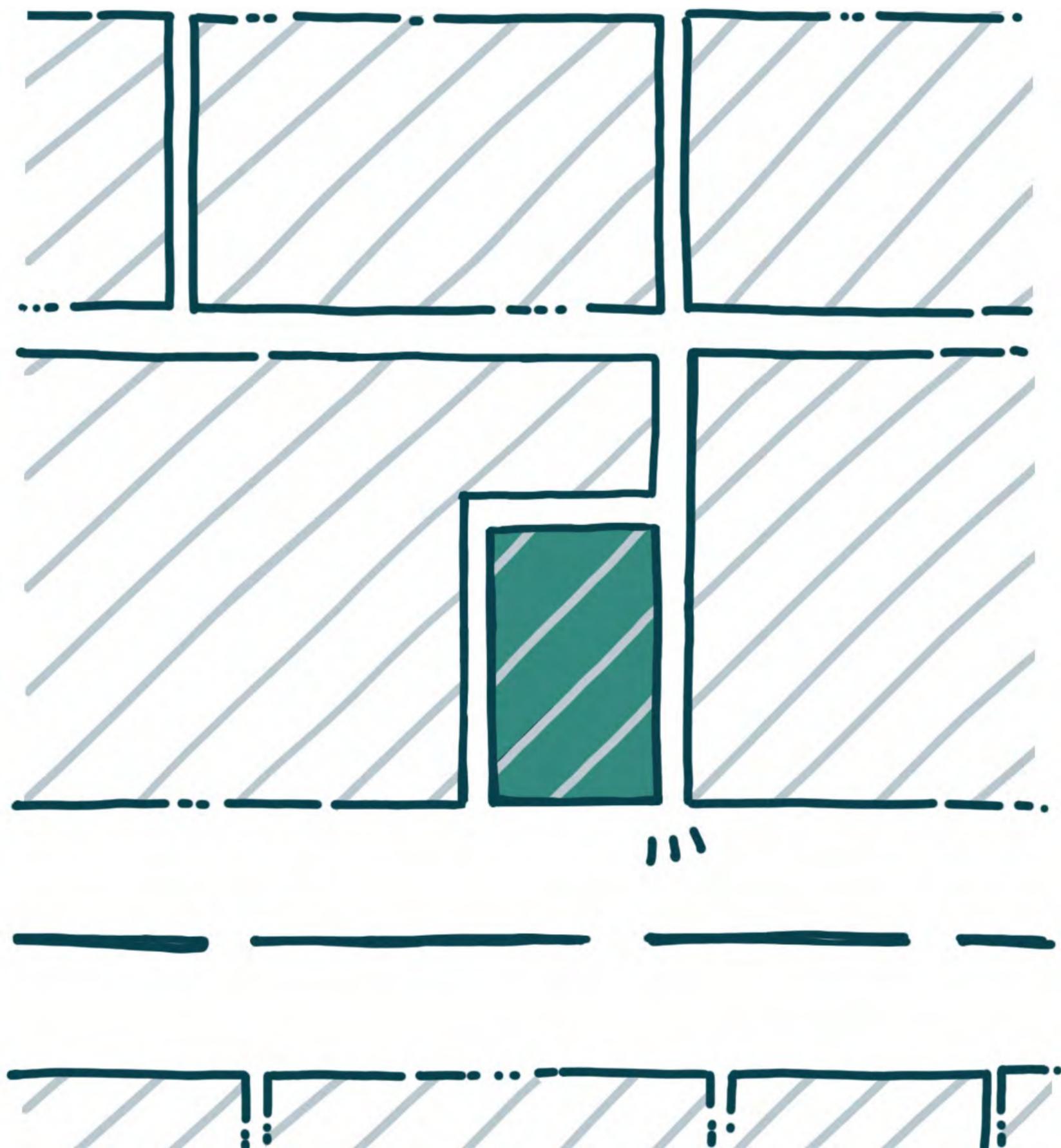
「モノ」の見直し

ができます。



限られたスペースでの暮らしに必要な「モノ」を見直し、取捨選択を行い、必要最低限のシンプルな暮らしを目指せます。

狭小住宅の
『デメリット』を
ご紹介します。



狭小住宅は

面積が狭い

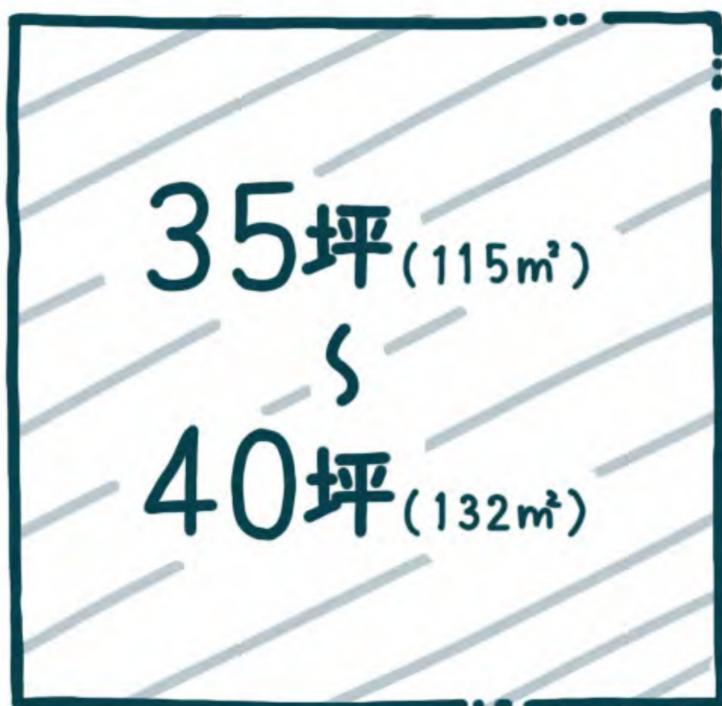
ことです。

一般的と呼ばれる

4LDK

2階建て

狭小住宅



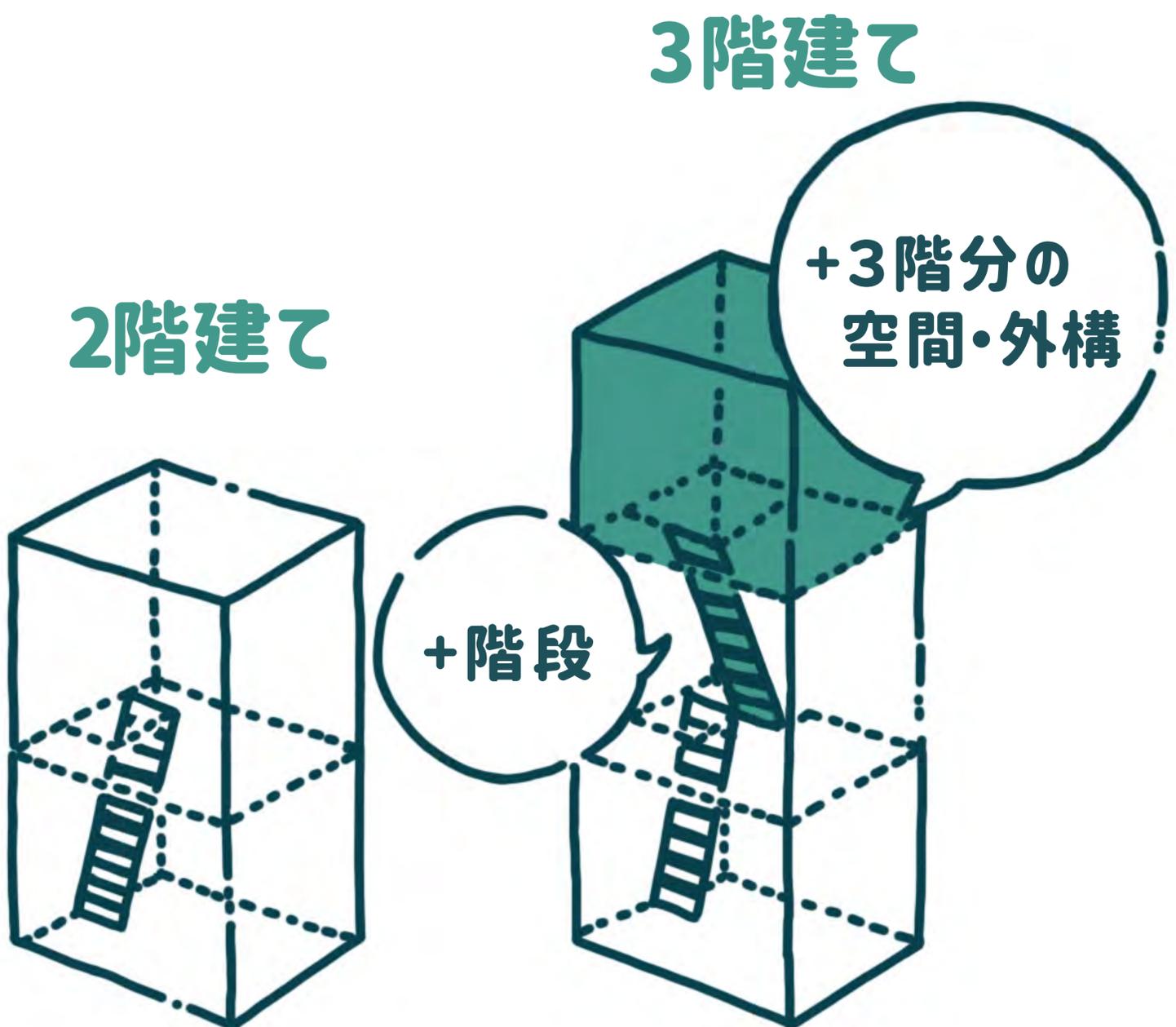
狭小住宅は、面積が小さいため、設計面でも、暮らしの面でも、様々な工夫が必要となります。

建築費用が、同等または

高くなりがち

に

なることです。



土地の狭さから3階建てにすることが多く、2階建てよりもコストがかかってしまいます。また、周辺環境や土地の形によって、重機が入らない場合は手作業となるため、割高になります。

建築会社によっては

家を建てられない

。



程度の制約のある規格住宅を扱うハウスメーカーなどでは、狭小住宅を扱っていないことが多いため、注意が必要となります。

そのほかにも様々な
『**デメリット**』を
挙げられます。

日当たりに
難が
あることも

収納スペース
を確保
しにくい

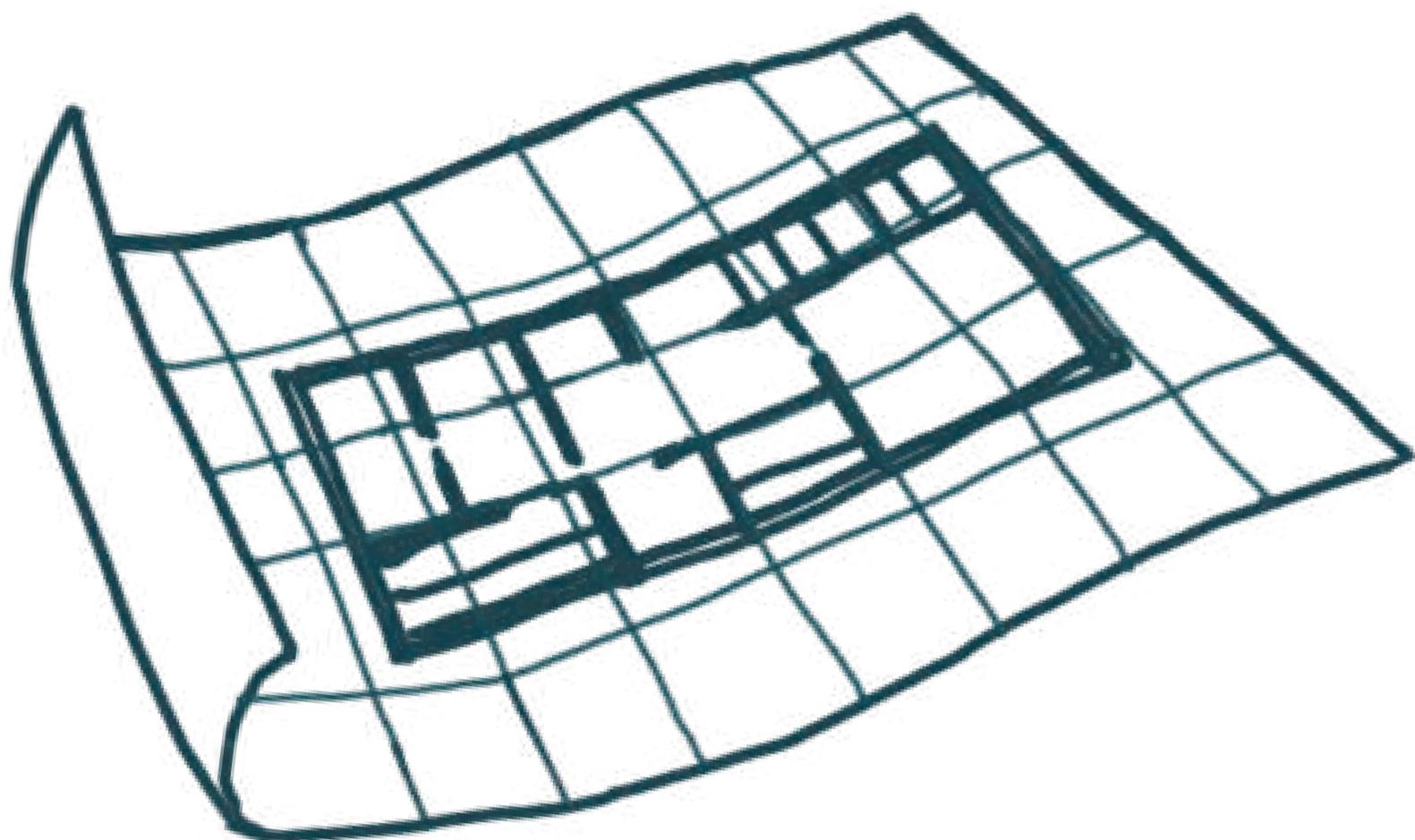
生活動線が
悪いと
暮らしにくい

外観デザインを
表現しにくい

フリーダムの自由設計なら
デメリットを

解決

することが可能です。



デメリットを解決できるアイ
ディアを次のページでご紹介！

設計時に

取り入れたい！

狭小住宅の

デザインアイデア

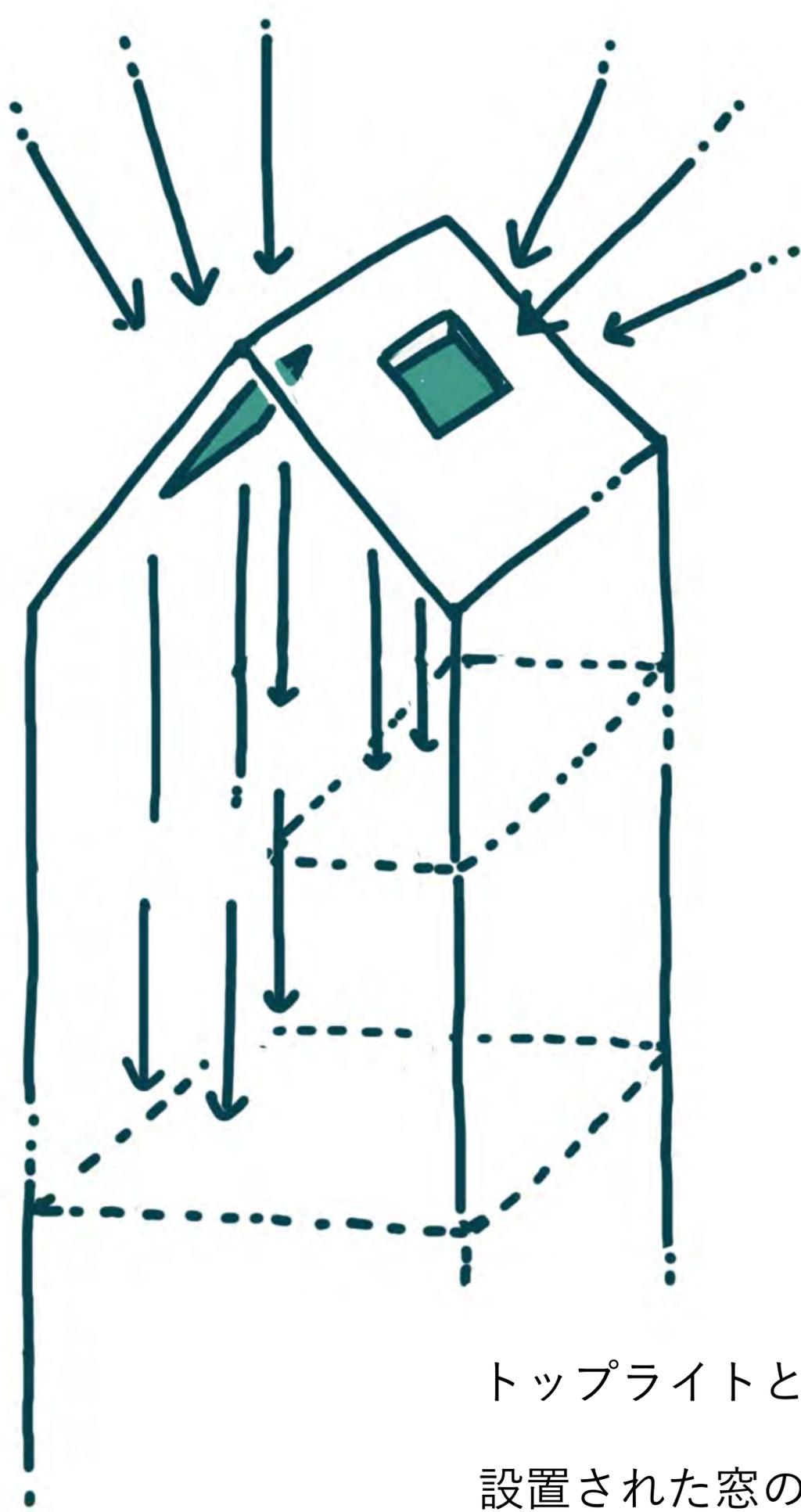
デメリットを
解決する

日当たりに
難がありがち

採光を取り入れる
アイデア

トップライト

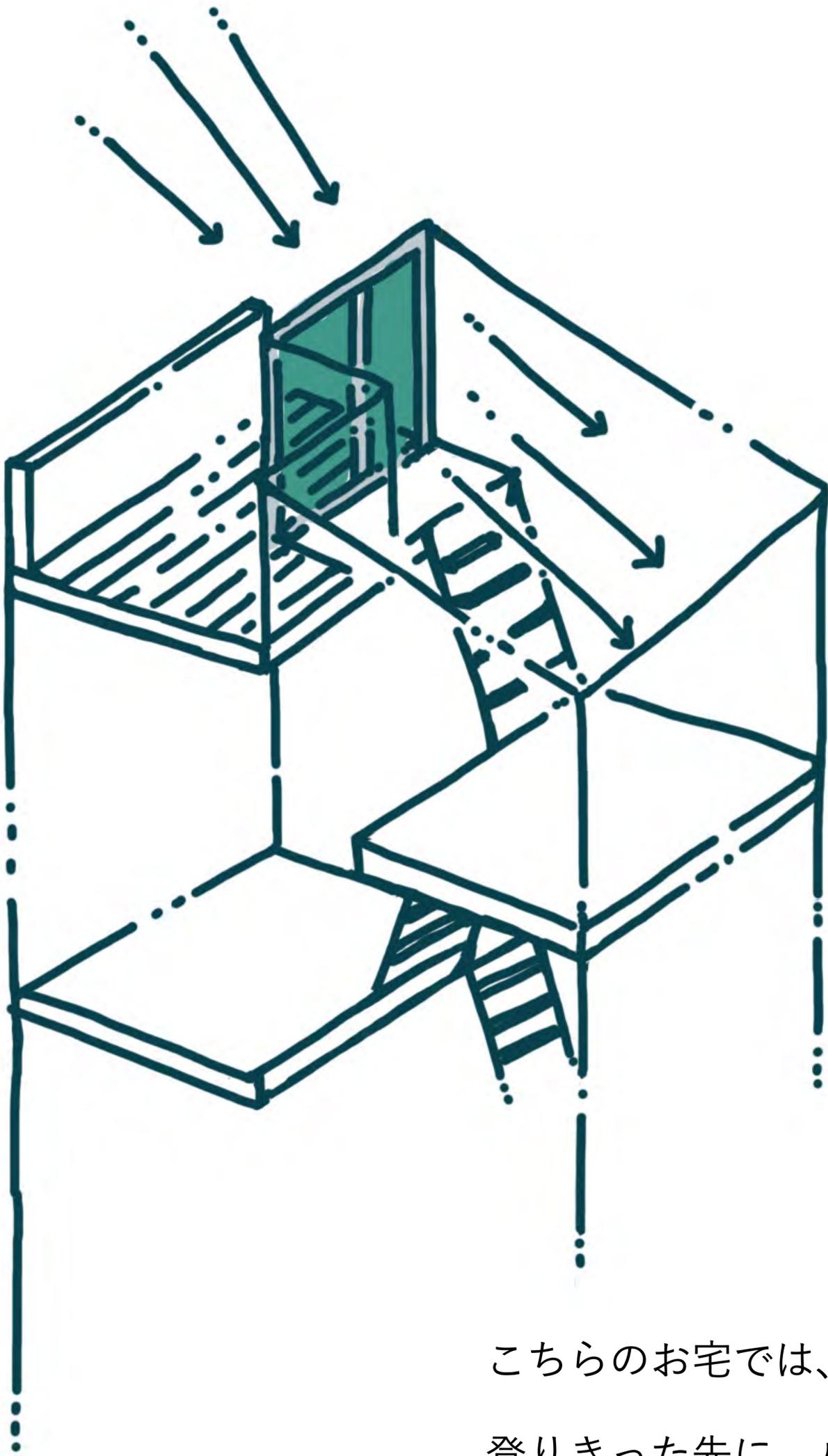
[この実例の写真をもっとみる](#)



トップライトとは、屋根に設置された窓のことです。採光や通風を取り入れることに優れています。特に採光を取り入れづらい都内の狭小住宅では、光が上から差し込むことで部屋の雰囲気がパッと明るくなります。

ルーフバルコニーを
窓に見立てて

[この実例の写真をもっとみる](#)



こちらのお宅では、階段を登りきった先に、ルーフバルコニーを配置。室内とルーフバルコニーを接続するガラス戸を、窓のように見立て採光を取り入れつつも、機能的な役割を与えました。



スケルトン階段から 覗く窓

スケルトン階段とは、蹴り込み板がなく、階段の先も見通せる階段のことです。空間を開放的に見せるスケルトン階段ですが、その先を窓にすることで、さらに明るく抜けた空間を演出できます。

[この実例の写真をもっとみる](#)



2階・3階の 床に透けるような工夫を

周辺環境によっては階数を重ねるほど、1階の採光が取れにくくなります。そこで、2階または3階の採光を取れる場所の床板を、ガラスのような透けるような素材を使うことで、1階に光を届けられます。

[この実例の写真をもっとみる](#)

デメリットを
解決する

面積が狭い

限られたスペースの
中で有効活用を図る



勾配天井

[この実例の写真をもっとみる](#)



法規制で定められた面積を最大限活用した結果、屋根の勾配に合わせて、斜めになっている天井の事を言います。空間を広く見せることができ、場合によっては梁と呼ばれる家を支える構造材などを見せることで空間にメリハリを持たせることもできます。



スキップフロア

スキップフロアは、1.5階や2.5階、いわゆる「中二階」「中三階」を設けることです。同じフロアよりも、高さ方向に広がり生まれるスキップフロアの方が視覚的に広く見せることができます。

この実例の写真をもっとみる



オーバーハング

オーバーハングとは、下階よりも上階が張り出し、スペースが広くなるように設計された建物のこと。下階を駐車場や庭として、上階は、居住スペースとして使用することで、スペースを有効活用できます。

[この実例の写真をもっとみる](#)

デメリットを
解決する

収納スペースを
確保しにくい

限られたスペースの中で
収納スペースをつくる



見せる収納

扉のある密閉された棚よりも、扉のない棚を採用し、「見せる収納」をつくることで、空間に抜け感が生まれます。また、来客時も見える場所となるので、綺麗さを保つための「必要なモノ」の見直しも図れます。

この実例の写真をもっとみる



ロフトをつくる

ロフトとは、屋根と天井の間に生まれる空間を利用した場所のこと。季節の飾り物や、捨てられない思い出の品などを一括して収納できます。収納だけではなく、書斎や趣味のスペースなどにも利用可能。

[この実例の写真をもっとみる](#)

狭小住宅
ならではの
アイデア

外観デザイン

旗竿地を活かした
外観デザイン

旗竿地とは？

旗竿地は道路に接する出入口部分が、細い通路上の敷地になっていて、その奥に家の敷地がある形状の土地のことを指します。まるで竿につけた旗のような形状をしているため、旗竿地と呼ばれています。



こちらのお宅では、旗竿地のアプローチ部分に、椅子とテーブルを設置し、テラスとして活用した例です。家にいながらも、昼であればカフェタイムを、夜であれば夜風を感じながら晩酌もできます。



こちらのお宅では、旗竿地のアプローチ部分に、植物とライトを設け、幻想的に演出。玄関まで下り階段を設置し、高低差があることによって、隠れ家のような遊び心を感じさせます。

[この実例の写真をもっとみる](#)



狭小住宅の 住宅実例紹介

間取りをご紹介



CASE612

たなのいえ

3階建て総スキップと屋上バルコニーの7フロアで構成され、家全体をワンルームとして計画。

また、ピッチ200mmの「たな」で全体を構成することにより、「たな」が棚や床、階段となりそれぞれの概念をなくし、限られた空間を最大限活用しています。

[この実例の写真をもっとみる](#)



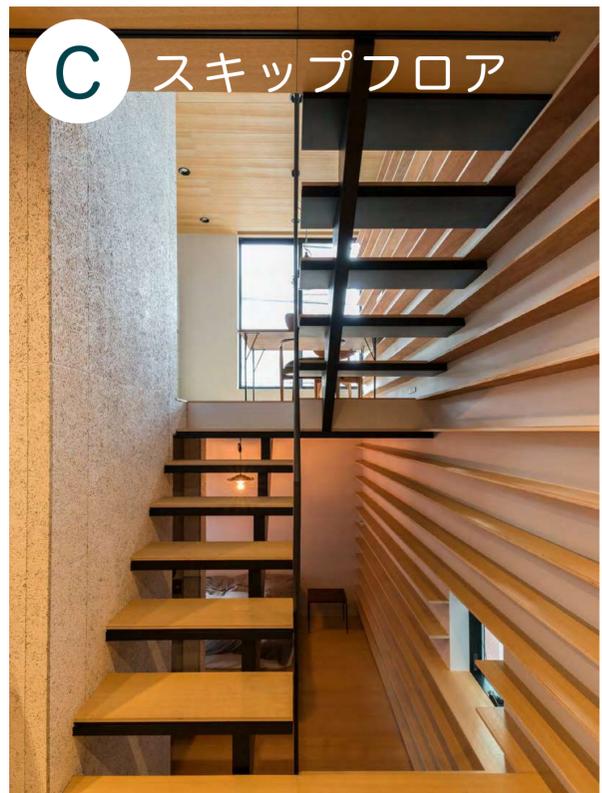
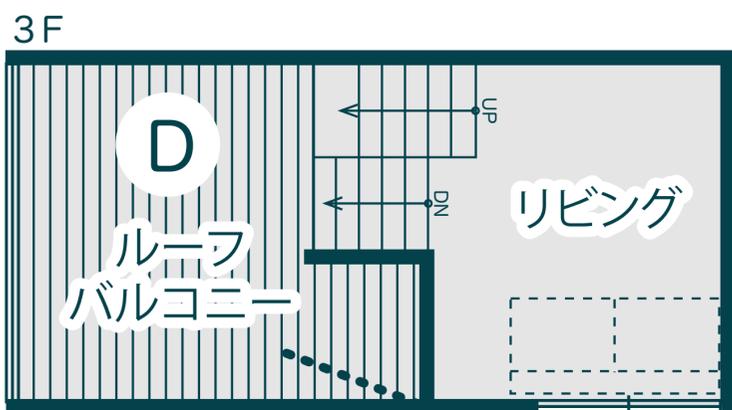
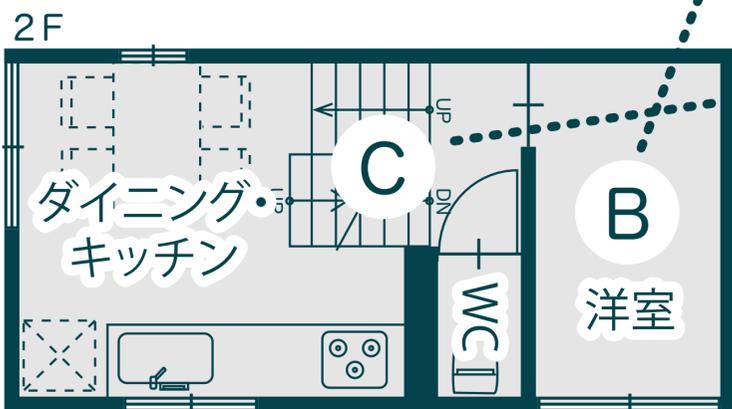
A 玄関



B 洋室

開閉して部屋を仕切る扉や壁を最小限にすることで、仕切りのない繋がりのある空間を演出しました。

棚や机などの家具を造作の造り付け家具で計画。全体を建築化することで空間に一体感が生まれるだけでなく、狭い空間の中でも床スペースを効率よく確保することができました。



C スキップフロア

三階建て総スキップの7フロアで計画。視線の先に大きな窓を配置するなど、窓の配置や光の入り方など細部まで工夫。狭小住宅でも窮屈さを感じさせることなく過ごしやすい空間を叶えました。



D ルーフバルコニー

階段を登りきった先に、ルーフバルコニーを配置。室内とルーフバルコニーを接続するガラス戸を、窓のように見立て採光を取り入れつつも、機能的な役割を与えました。

この実例の写真をもっとみる

約40例の

写真、間取り、価格などを

紹介する **住宅作品集** を

無料でお届け。

CASE495
舞台の家

施工場所 愛知県常滑市
坪単価 62万円
建築費合計 3,000万円+税計費(13~15%)

豊かな自然に包まれる心地よい土地を舞台にして、素晴らしいロケーションを活かすべく計画された住宅。6mの全開口となるサッシを開けると、窓と一体化したLDKが「舞台」として広がり、自然の中に佇む「舞台」のような気持ちに代わります。断熱材や気密性能、地中蓄熱は断熱の採用にもこだわり、四季を高めるこだわりの空間を実現しました。

The house has planned to make use of a great location where the land enveloped by rich nature. To open the sash which is 6m of length at LDK, the space changes its character from room to stage in nature. To live comfortably in each of 4 seasons, improve its performance of adiabaticity and airtightness.

01

01 | 舞台 - 中庭のある家




LDK・テラス

CASE480
大屋根の垂木の家

施工場所 千葉県市原市
坪単価 再公開
建築費合計 2,824万円+税計費(13~15%)

五感から連続する素材によって構成された住宅。構造を可能な限りそのままの形で残すことで、居住空間に自然と馴染む構造美を創出しました。建物の断熱には大きな開口部を設けて、LDKに日射の採光を取り入れています。合わせて、外部からの視線を遮るために、道路側にはルーバーを設置。プライバシーを確保しつつ、リビングから外を見たい際に、圧迫感のない広がりある空間を実現しました。

Laying out the rafters continuously from entrance to inside to show the structure beauty. The wide windows have arranged to the wall along the street, so that plenty of daylight shine in. On the other hand, louver is installed in front of the house to block the glance of pedestrians. This house has managed both of open feeling and privacy.

05

05 | 大屋根の垂木の家



018

CASE480 | 舞台の家



外観



リビング・ダイニング



リビング・ダイニング・書斎



書斎

082

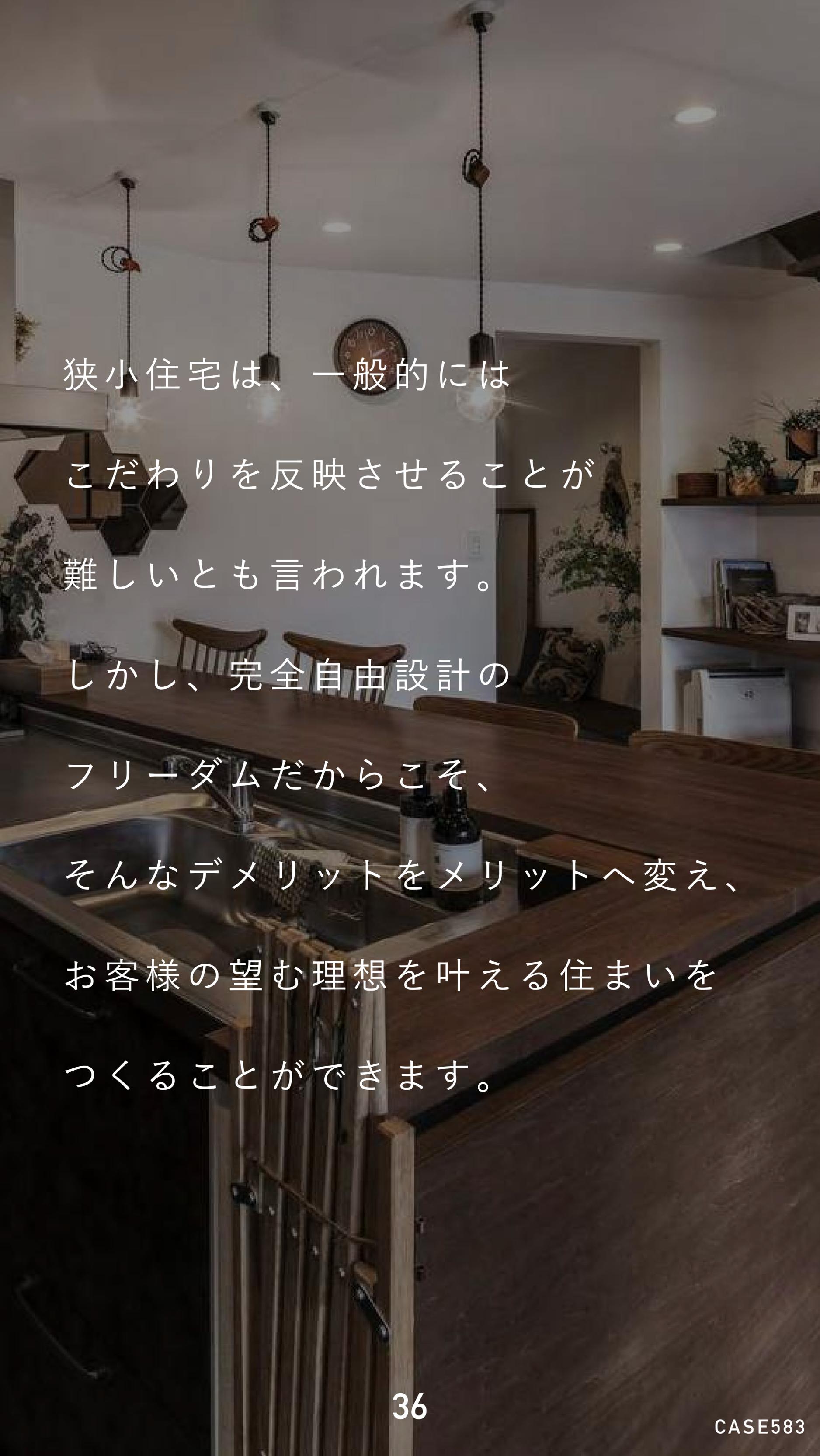
CASE480 | 大屋根の垂木の家

083

CASE480 | 大屋根の垂木の家

年間約 30,000 人が
手にする住宅作品集を
取り寄せる





狭小住宅は、一般的には
こだわりを反映させることが
難しいとも言われます。
しかし、完全自由設計の
フリーダムだからこそ、
そんなデメリットをメリットへ変え、
お客様の望む理想を叶える住まいを
つくることができます。

土地探しや設計のプロが
あなたの家づくりを
サポートいたします。



家づくり無料相談会

水曜日を除く毎日開催！

10：00～21：00まで。所要約2時間。

土地探しの相談をする

建物の相談をする

オンラインで相談をする